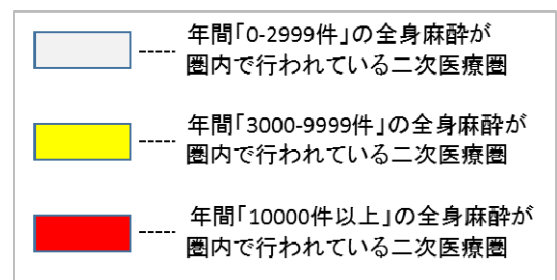
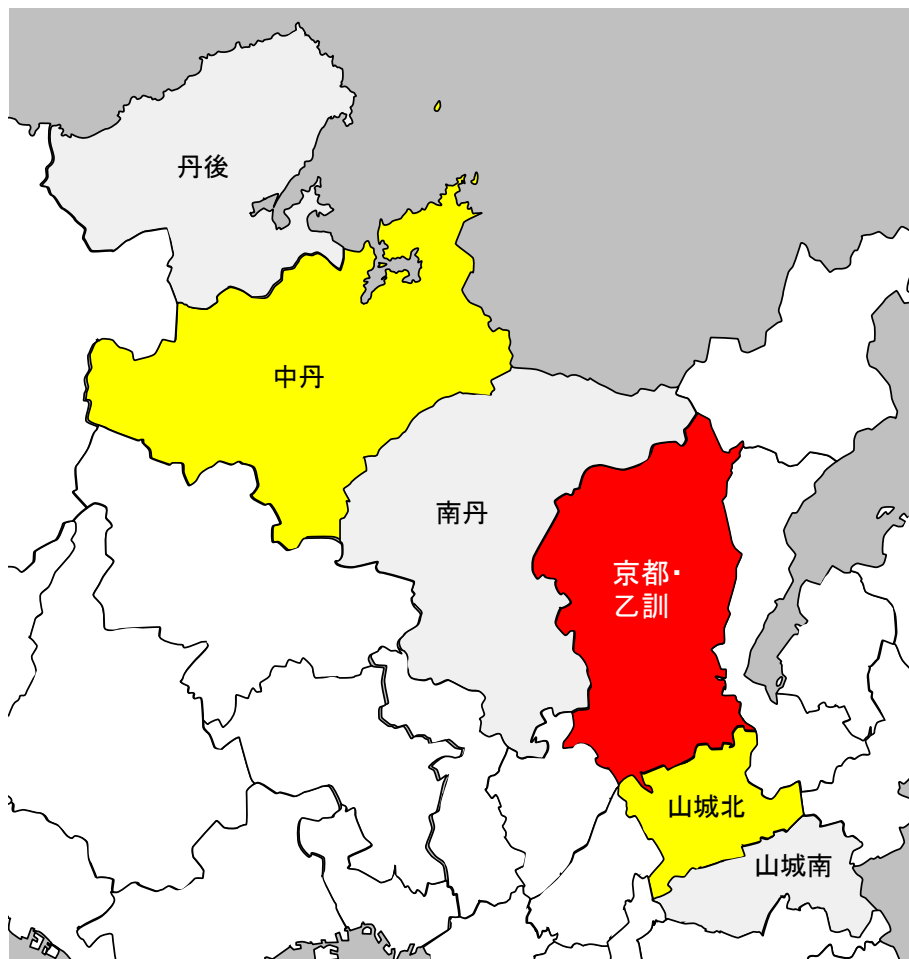


# 26. 京都府



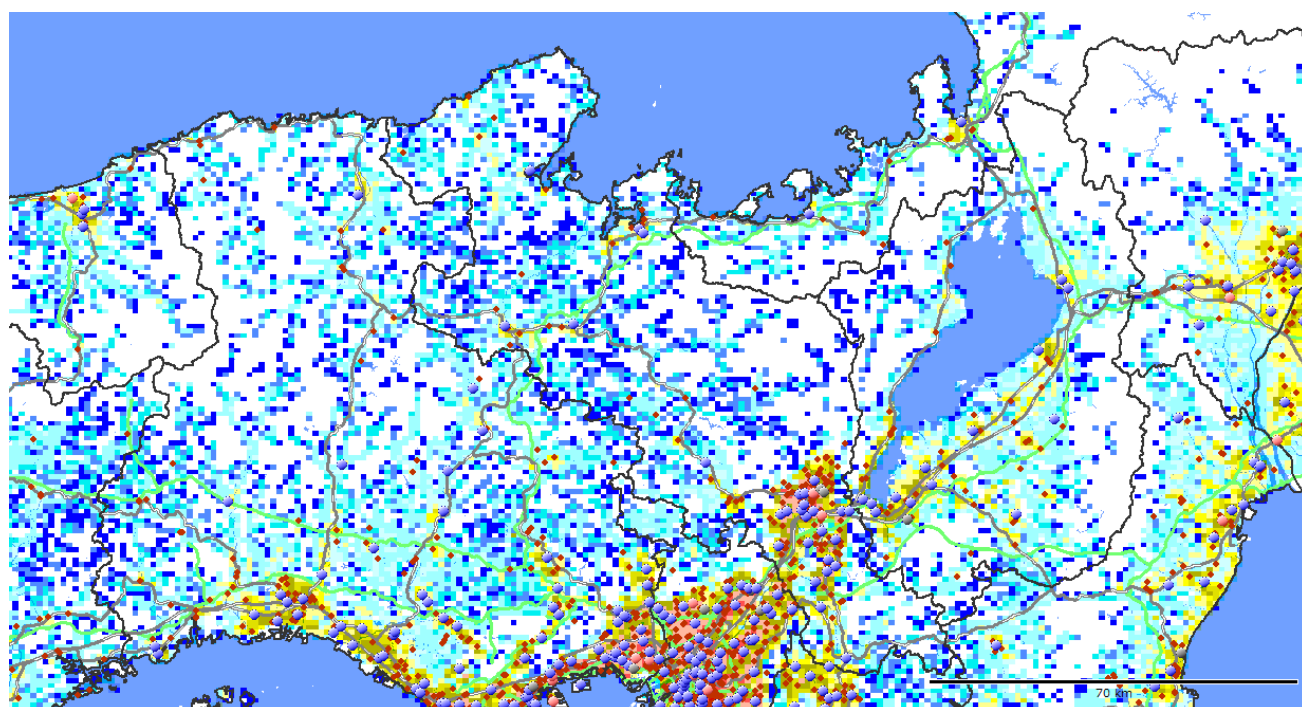
## 26. 京都府

### 目次

京都府.....	26 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	26 - 7
1. 丹後医療圏.....	26 - 15
2. 中丹医療圏.....	26 - 19
3. 南丹医療圏.....	26 - 23
4. 京都・乙訓医療圏.....	26 - 27
5. 山城北医療圏.....	26 - 31
6. 山城南医療圏.....	26 - 35

# 26. 京都府

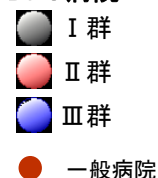
人口分布<sup>1</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 京都府を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (京都府) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 京都府は、総人口約 2615 千人(2015 年推計)、面積 4608 km<sup>2</sup>、人口密度は 567 人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 京都府の総人口は 2025 年に 2499 千人へと減少し(2015 年比-4%)、2040 年に 2224 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 347 千人が、2025 年にかけて 484 千人へと増加し(2015 年比+39%)、2040 年には 467 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 京都府の一人当たり医療費(国保)は 317 千円(偏差値 52)、介護給付費は 258 千円(偏差値 52)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 京都府の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は 1.25、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.94 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 57(病院医師数 56、診療所医師数 56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 57 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 49 と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 49 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 48 と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 49 で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 58 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 京都府の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、30226 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 21530 床(偏差値 53)、高齢者住宅等が 8696 床(偏差値 42)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、24366 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 47、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 64、有料老人ホーム 45、軽費ホーム 46、グループホーム 43、サ高住 47 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 51 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 50 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、4854 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

## 【医療と介護の需要予測】

\*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)<sup>3</sup>

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は28290床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は29900床であり、その差は+1610床(+6%)である。

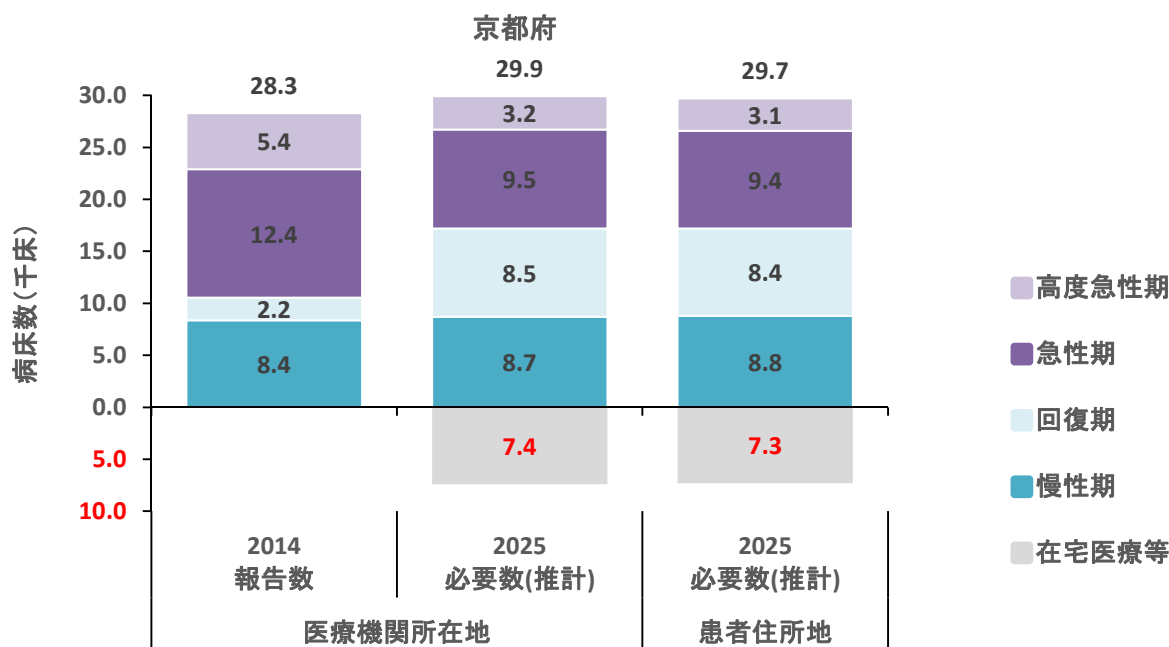
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は5401床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3200床であり、その差は-2201床(-41%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は12350床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は9500床であり、その差は-2850床(-23%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は2162床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は8500床であり、その差は+6338床(+293%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は8377床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は8700床であり、その差は+323床(+4%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は7400人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

\*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-5%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-41%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

<sup>3</sup>必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

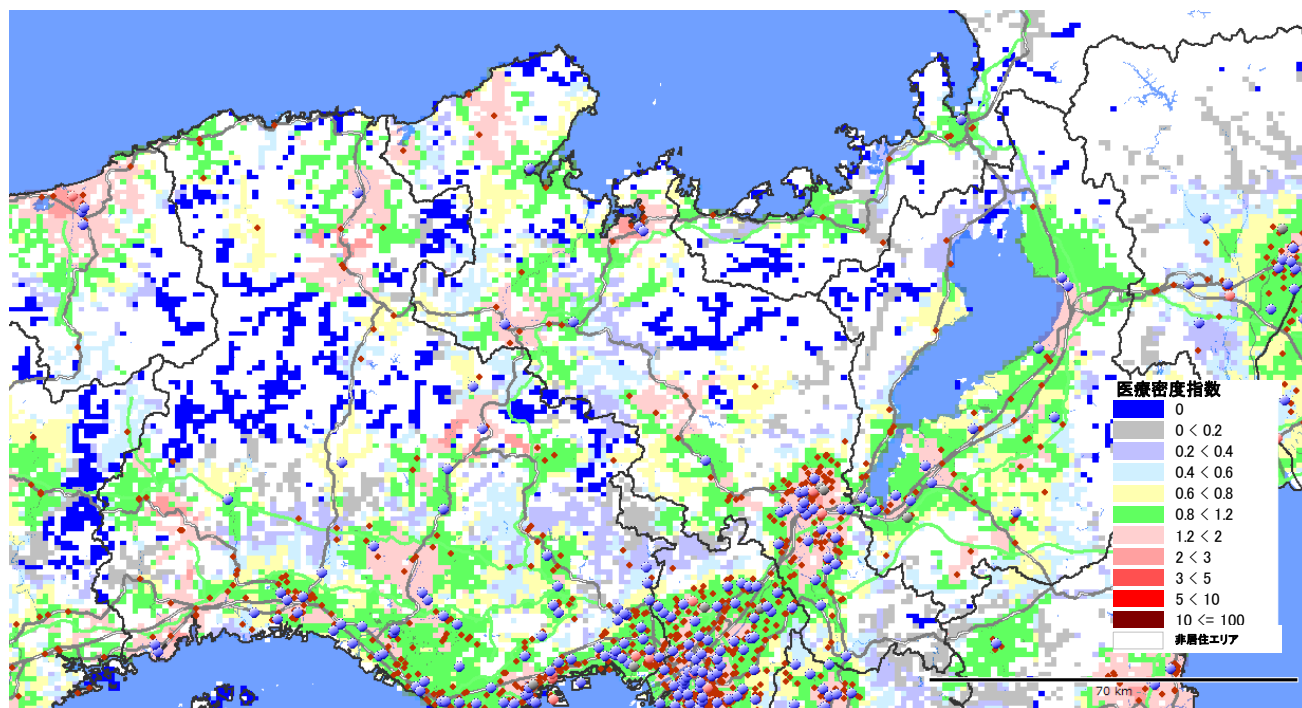
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベット数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

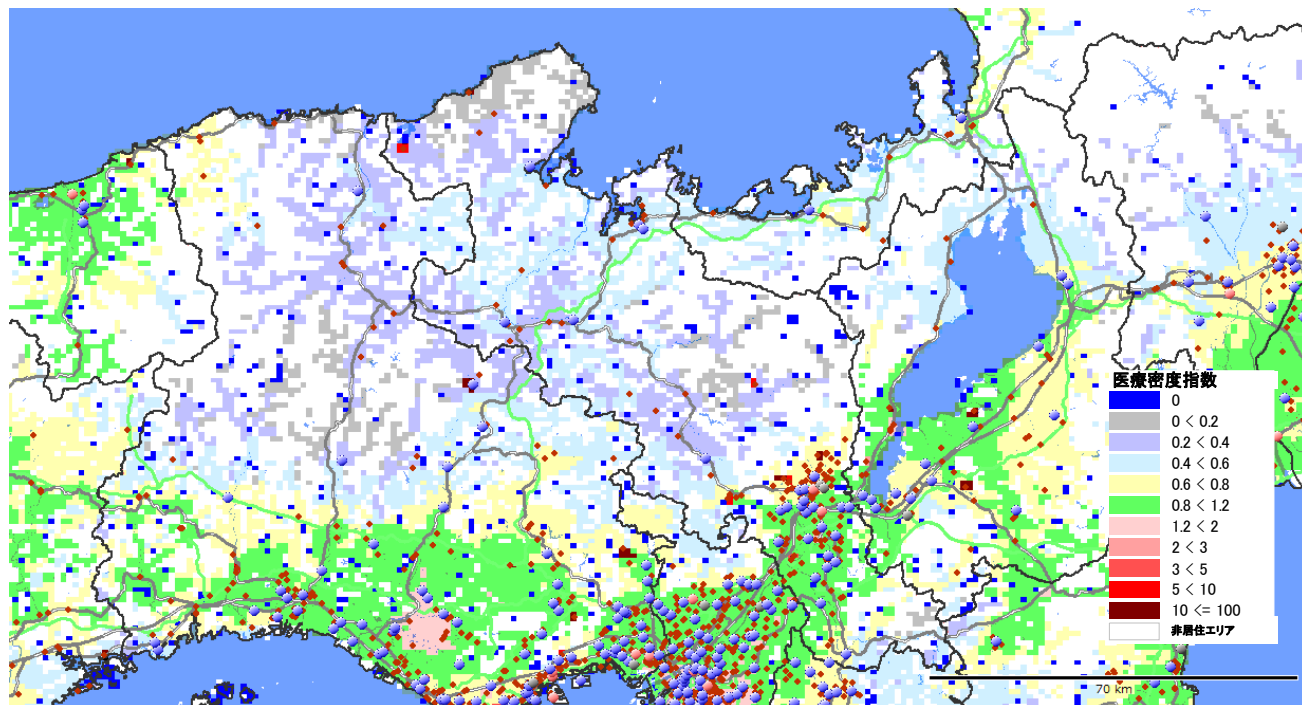
## 26. 京都府

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 26-1 急性期医療密度指数マップ



図表 26-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>1</sup>

資\_図表 26-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
京都府	2,615	13位	4,608	31位	567.3		28%	2,499	2,224	347	484	467	-4%	-11%	39%	-4%
丹後	98	4%	840	18%	116.5	過疎地域型	36%	85	66	19	21	18	-13%	-22%	11%	-14%
中丹	196	7%	1,242	27%	157.6	地方都市型	31%	178	151	32	36	32	-9%	-15%	13%	-11%
南丹	138	5%	1,144	25%	121.0	過疎地域型	29%	127	107	19	25	25	-8%	-16%	32%	0%
京都・乙訓	1,621	62%	861	19%	1,883.6	大都市型	28%	1,565	1,408	215	301	297	-3%	-10%	40%	-1%
山城北	442	17%	258	6%	1,716.2	地方都市型	27%	423	371	50	80	73	-4%	-12%	60%	-9%
山城南	119	5%	263	6%	451.0	地方都市型	24%	122	121	12	19	21	3%	-1%	58%	11%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資\_図表 26-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
京都府	1.25	0.94	-4.5%	-45.7%	-40.7%
丹後	1.04	0.84	-12.6%	-22.6%	-8.3%
中丹	1.33	0.52	-8.9%	-25.9%	-10.4%
南丹	1.05	1.08	11.7%	-16.0%	-14.4%
京都・乙訓	1.39	0.72	-11.7%	-56.6%	-54.5%
山城北	0.97	0.48	-12.9%	-81.1%	-65.4%
山城南	0.60	0.80	9.7%	-44.0%	-57.9%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

<sup>1</sup>日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

26. 京都府

資\_図表 26-3 医療費、介護給付費<sup>2</sup>

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
京都府	317	52	258	52
丹後	306	49	281	58
中丹	317	52	277	57
南丹	309	50	254	51
京都・乙訓	336	56	267	55
山城北	319	52	214	40
山城南	345	59	234	46
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資\_図表 26-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
京都府	173	2.0%	6.6	50	2,472	2.5%	95	58
丹後	6	3%	6.1	49	76	3%	78	49
中丹	17	10%	8.7	55	168	7%	86	53
南丹	10	6%	7.2	51	106	4%	77	49
京都・乙訓	114	66%	7.0	51	1,725	70%	106	64
山城北	23	13%	5.2	46	305	12%	69	45
山城南	3	2%	2.5	40	92	4%	77	49
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 26-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
京都府	2,472	2.5%	95	58	2,333	2.6%	89	59	139	1.5%	5.3	47
丹後	76	3%	78	49	70	3%	72	50	6	4%	6.1	48
中丹	168	7%	86	53	154	7%	79	53	14	10%	7.2	50
南丹	106	4%	77	49	97	4%	70	49	9	6%	6.5	49
京都・乙訓	1,725	70%	106	64	1,639	70%	101	65	86	62%	5.3	47
山城北	305	12%	69	45	284	12%	64	46	21	15%	4.7	46
山城南	92	4%	77	49	89	4%	75	51	3	2%	2.5	43
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

<sup>2</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。



資\_図表 26-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
京都府	35,959	2.3%	1,375	53	1,087	0.9%	42	45	37,046	2.2%	1,417	51
丹後	1,118	3%	1,142	48	37	3%	38	45	1,155	3%	1,180	47
中丹	3,139	9%	1,603	57	137	13%	70	48	3,276	9%	1,673	56
南丹	1,417	4%	1,023	46	66	6%	48	46	1,483	4%	1,071	45
京都・乙訓	24,763	69%	1,527	56	643	59%	40	45	25,406	69%	1,567	54
山城北	4,951	14%	1,119	48	177	16%	40	45	5,128	14%	1,159	47
山城南	571	2%	481	35	27	2%	23	43	598	2%	503	36
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 26-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
京都府	22,892	2.6%	876	57	6,304	1.9%	241	49	6,421	1.9%	246	49
丹後	881	4%	900	58	218	3%	223	48	0	0%	0	38
中丹	1,990	9%	1,016	63	380	6%	194	47	755	12%	386	55
南丹	1,093	5%	789	53	310	5%	224	48	0	0%	0	38
京都・乙訓	15,468	68%	954	61	4,498	71%	277	51	4,624	72%	285	51
山城北	2,949	13%	667	48	848	13%	192	47	1,042	16%	236	49
山城南	511	2%	430	38	50	1%	42	40	0	0%	0	38
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 26-8 回復期リハビリ病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	74,508		59	(46)
京都府	1,309	1.8%	50	48
丹後	96	7%	98	58
中丹	139	11%	71	53
南丹	0	0%	0	37
京都・乙訓	831	63%	51	48
山城北	243	19%	55	49
山城南	0	0%	0	37
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月			

26. 京都府

資\_図表 26-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
京都府	58,716	2.3%	2,246	52	24,552	2.3%	939	53
丹後	2,280	4%	2,330	53	804	3%	822	49
中丹	5,136	9%	2,623	56	2,532	10%	1,293	66
南丹	1,392	2%	1,005	39	876	4%	633	43
京都・乙訓	42,012	72%	2,591	56	17,376	71%	1,072	58
山城北	6,600	11%	1,492	44	2,040	8%	461	37
山城南	1,296	2%	1,091	40	924	4%	778	48
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 26-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
京都府	8,303	2.5%	318	57	5,344	2.6%	204	56	2,959	2.4%	113	56
丹後	197	2%	202	43	131	2%	133	45	67	2%	68	41
中丹	479	6%	245	48	322	6%	164	50	157	5%	80	45
南丹	291	4%	210	44	182	3%	131	45	109	4%	79	44
京都・乙訓	6,242	75%	385	64	4,100	77%	253	64	2,141	72%	132	62
山城北	910	11%	206	44	521	10%	118	43	388	13%	88	47
山城南	185	2%	155	38	88	2%	74	36	96	3%	81	45
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 26-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
京都府	22,242	2.1%	851	50	19,573	2.2%	749	52	2,669	1.5%	102	45
丹後	854	4%	873	51	687	4%	702	50	167	6%	171	54
中丹	2,074	9%	1,059	57	1,721	9%	879	57	353	13%	180	55
南丹	869	4%	627	42	742	4%	536	43	126	5%	91	43
京都・乙訓	15,200	68%	938	53	13,580	69%	838	56	1,620	61%	100	44
山城北	2,843	13%	643	43	2,531	13%	572	45	311	12%	70	40
山城南	403	2%	339	32	312	2%	263	32	90	3%	76	41
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 26-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
京都府	2,239	2.0%	86	49	5,726	2.0%	219	50
丹後	87	4%	88	50	109	2%	111	38
中丹	153	7%	78	48	356	6%	182	46
南丹	80	4%	58	44	172	3%	124	40
京都・乙訓	1,463	65%	90	50	4,182	73%	258	54
山城北	411	18%	93	51	738	13%	167	44
山城南	46	2%	39	40	169	3%	142	42
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資\_図表 26-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
京都府	324	2.3%	0.9	51	22	2.1%	0.1	50
丹後	10	3%	0.5	42	1	5%	0.1	48
中丹	31	10%	1.0	52	1	5%	0.0	45
南丹	6	2%	0.3	38	2	9%	0.1	57
京都・乙訓	230	71%	1.1	54	16	73%	0.1	52
山城北	35	11%	0.7	46	2	9%	0.0	46
山城南	12	4%	1.0	53	0	0%	0	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資\_図表 26-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
京都府	30,226	1.9%	87	45	21,530	2.2%	62	53	8,696	1.4%	25	42
丹後	1,497	5%	78	39	1,183	5%	62	52	314	4%	16	36
中丹	2,401	8%	76	38	2,052	10%	65	55	349	4%	11	32
南丹	1,975	7%	103	54	1,699	8%	88	73	276	3%	14	34
京都・乙訓	19,212	64%	89	46	13,210	61%	61	52	6,002	69%	28	44
山城北	4,017	13%	80	41	2,796	13%	56	48	1,221	14%	24	41
山城南	1,124	4%	94	49	590	3%	49	43	534	6%	45	56
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

26. 京都府

資\_図表 26-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）				特別養護老人ホーム（特養）				介護療養病床数			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
京都府	7,023	2.0%	20	47	10,942	2.0%	32	49	3,565	5.1%	10.3	64
丹後	216	3%	11	32	967	9%	50	67	0	0%	0	40
中丹	612	9%	19	46	1,347	12%	43	60	93	3%	2.9	47
南丹	574	8%	30	64	914	8%	47	64	211	6%	11.0	66
京都・乙訓	4,435	63%	21	48	5,780	53%	27	44	2,995	84%	13.9	73
山城北	986	14%	20	46	1,544	14%	31	48	266	7%	5.3	53
山城南	200	3%	17	41	390	4%	33	50	0	0%	0	40
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 26-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
京都府	2,539	1.2%	7.3	45	180	0.9%	0.5	46	2,559	1.4%	7.4	43
丹後	120	5%	6.3	44	0	0%	0	43	144	6%	7.5	43
中丹	69	3%	2.2	40	50	28%	1.6	52	212	8%	6.7	42
南丹	0	0%	0	37	0	0%	0	43	153	6%	7.9	44
京都・乙訓	1,375	54%	6.4	44	100	56%	0.5	46	1,548	60%	7.2	43
山城北	540	21%	10.8	48	30	17%	0.6	47	403	16%	8.0	44
山城南	435	17%	36.4	74	0	0%	0	43	99	4%	8.3	45
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 26-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）				サ高住（特定施設）				サ高住（非特定施設）			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
京都府	3,418	1.8%	9.8	47	134	1.4%	0.4	49	3,284	1.8%	9.5	47
丹後	50	1%	2.6	36	0	0%	0	45	50	2%	2.6	36
中丹	18	1%	0.6	32	0	0%	0	45	18	1%	0.6	32
南丹	123	4%	6.4	42	0	0%	0	45	123	4%	6.4	42
京都・乙訓	2,979	87%	13.9	54	134	100%	0.6	50	2,845	87%	13.2	54
山城北	248	7%	5.0	39	0	0%	0	45	248	8%	5.0	40
山城南	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 26-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
京都府	3,711	2.4%	10.7	55	2,762	2.4%	8.0	54	949	2.5%	2.7	56
丹後	155	4%	8.1	45	101	4%	5.3	42	54	6%	2.8	57
中丹	338	9%	10.7	56	248	9%	7.9	54	90	9%	2.8	57
南丹	261	7%	13.6	67	221	8%	11.5	69	40	4%	2.1	48
京都・乙訓	2,409	65%	11.2	57	1,788	65%	8.3	56	620	65%	2.9	58
山城北	456	12%	9.1	49	338	12%	6.7	49	118	12%	2.4	51
山城南	92	2%	7.7	44	66	2%	5.5	43	26	3%	2.2	49
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 26-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 （介護施設 等）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 （在宅）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
京都府	29,220	2.0%	84	48	24,366	2.0%	70	47	4,854	2.2%	14.0	51
丹後	1,768	6%	92	53	1,641	7%	86	57	127	3%	6.6	38
中丹	2,942	10%	93	53	2,558	10%	81	54	384	8%	12.2	48
南丹	2,119	7%	110	64	1,921	8%	100	67	198	4%	10.3	44
京都・乙訓	17,973	62%	84	47	14,359	59%	67	45	3,613	74%	16.8	56
山城北	3,526	12%	70	39	3,062	13%	61	41	464	10%	9.3	43
山城南	893	3%	75	42	825	3%	69	46	68	1%	5.7	36
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 26-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
京都府	16,934	2.3%	49	52	9,944	2.8%	29	58	36,769	2.6%	106	56
丹後	1,028	6%	54	54	563	6%	29	59	1,186	3%	62	42
中丹	1,492	9%	47	51	1,002	10%	32	62	3,341	9%	106	56
南丹	476	3%	25	42	319	3%	17	45	1,150	3%	60	41
京都・乙訓	11,216	66%	52	53	6,434	65%	30	59	26,126	71%	121	62
山城北	1,618	10%	32	45	1,350	14%	27	56	4,104	11%	82	49
山城南	1,104	7%	92	70	276	3%	23	52	862	2%	72	45
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

26. 京都府

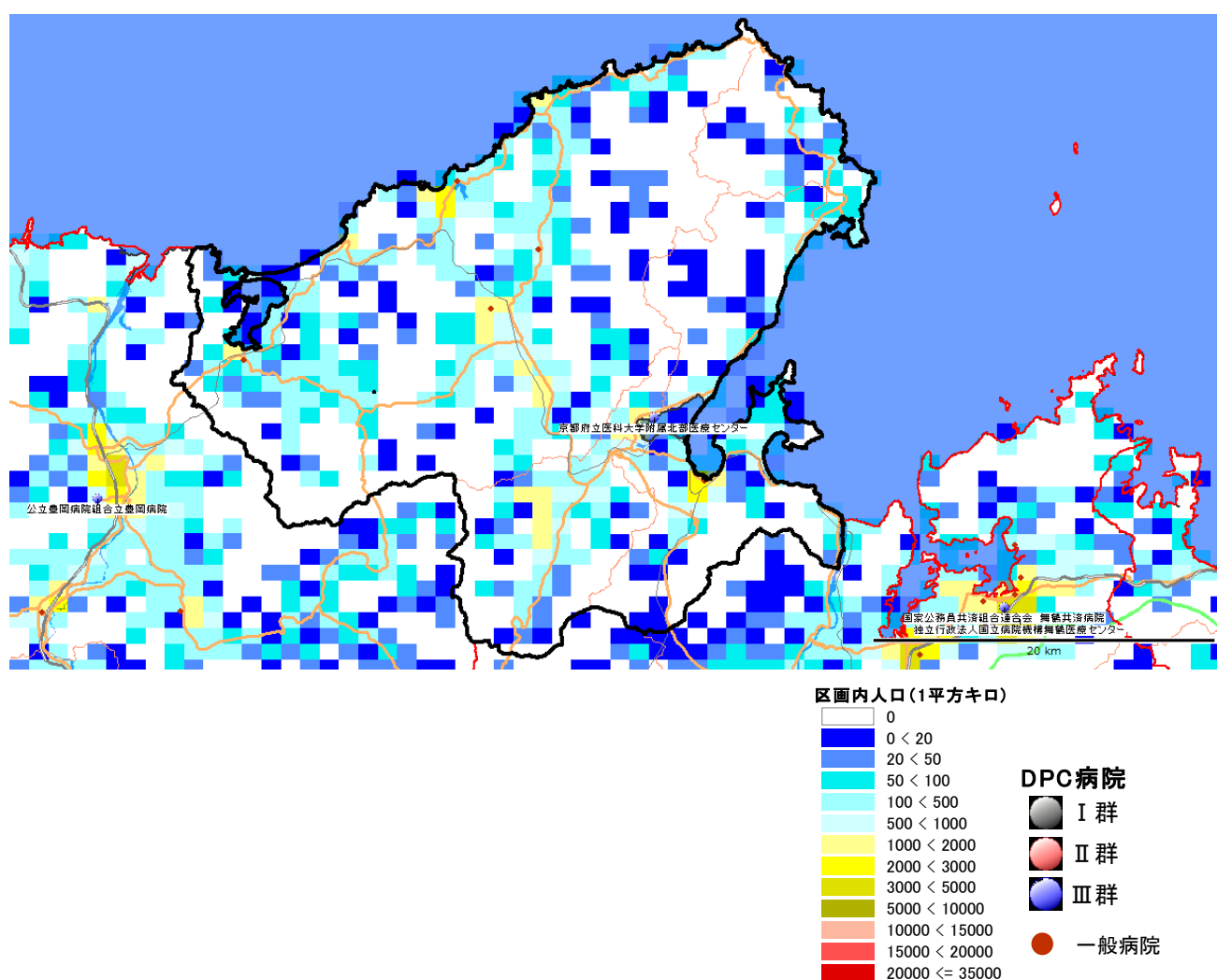
資\_図表 26-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
京都府	13,859	12,095	656	22,023	10,812	5,721	52.8%	50	10.3%	51
丹後	971	794	158	225	165	60	82.8%	63	72.5%	77
中丹	1,898	1,581	183	1,125	297	193	84.2%	63	48.7%	67
南丹	761	751	0	634	324	310	69.9%	57	0.0%	46
京都・乙訓	8,445	7,716	192	16,118	7,602	4,389	50.4%	49	4.2%	48
山城北	1,463	932	123	3,621	2,174	719	30.0%	41	14.6%	52
山城南	321	321	0	300	250	50	56.2%	52	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

# 26-1. たんご 丹後医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 宮津市,京丹後市,伊根町,与謝野町

人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 丹後医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (丹後医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 丹後(宮津市)は、総人口約 98 千人(2015 年推計)、面積 840 km<sup>2</sup>、人口密度は 116 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 丹後の総人口は 2025 年に 85 千人へと減少し(2015 年比-13%)、2040 年に 66 千人へと減少する(2025 年比-22%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 19 千人が、2025 年にかけて 21 千人へと増加し(2015 年比+11%)、2040 年には 18 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 丹後の一人当たり医療費(国保)は 306 千円(偏差値 49)、介護給付費は 281 千円(偏差値 58)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 丹後の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.04、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.84 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 43(病院医師数 45、診療所医師数 41)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 58 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 53 とやや多い。丹後には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の京都府立医科大学附属北部医療センターがある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 48 と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 50 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 58 と多い。

**\*精神病床の現状：** 精神病床は存在しない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 49 で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 丹後の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1497 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1183 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 314 床(偏差値 36)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1641 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 32、特別養護老人ホーム 67、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホーム 44、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 43、サ高住 36 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実



**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 42 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、127 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 38)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は－13%であり、介護の充足度は低い。2040 年の介護充足度指数は－8%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

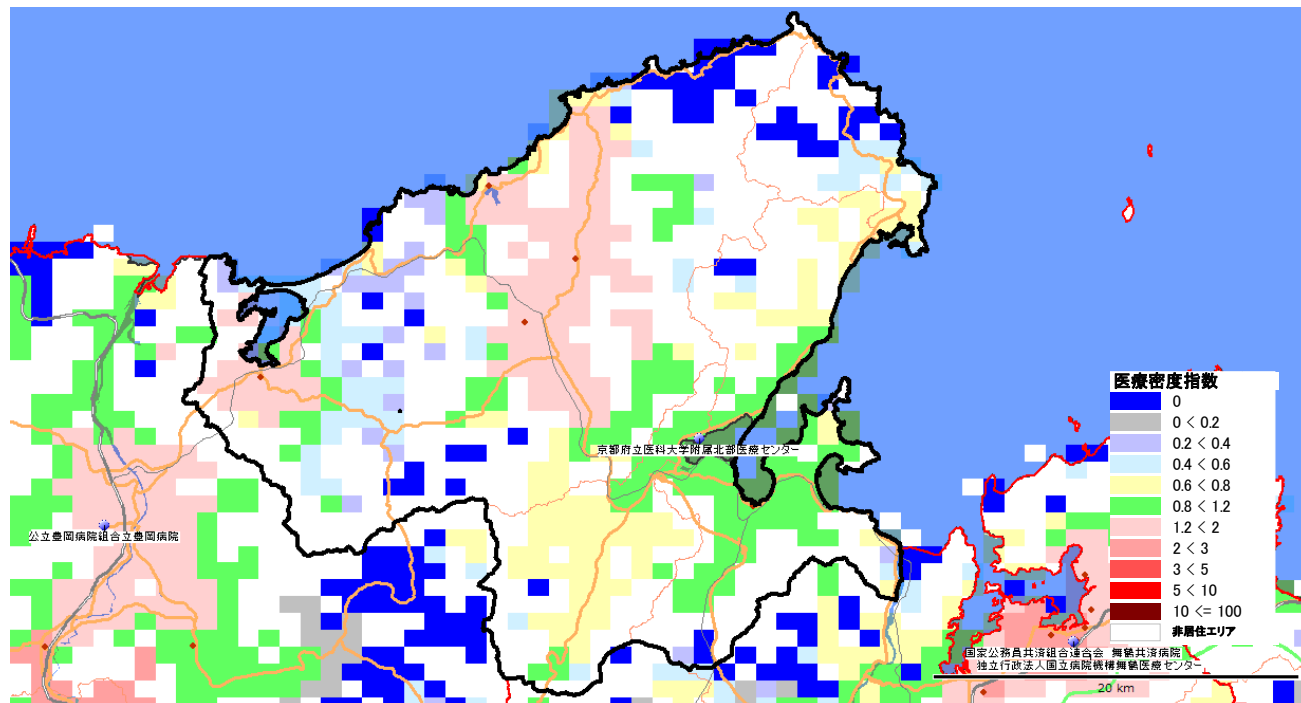
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

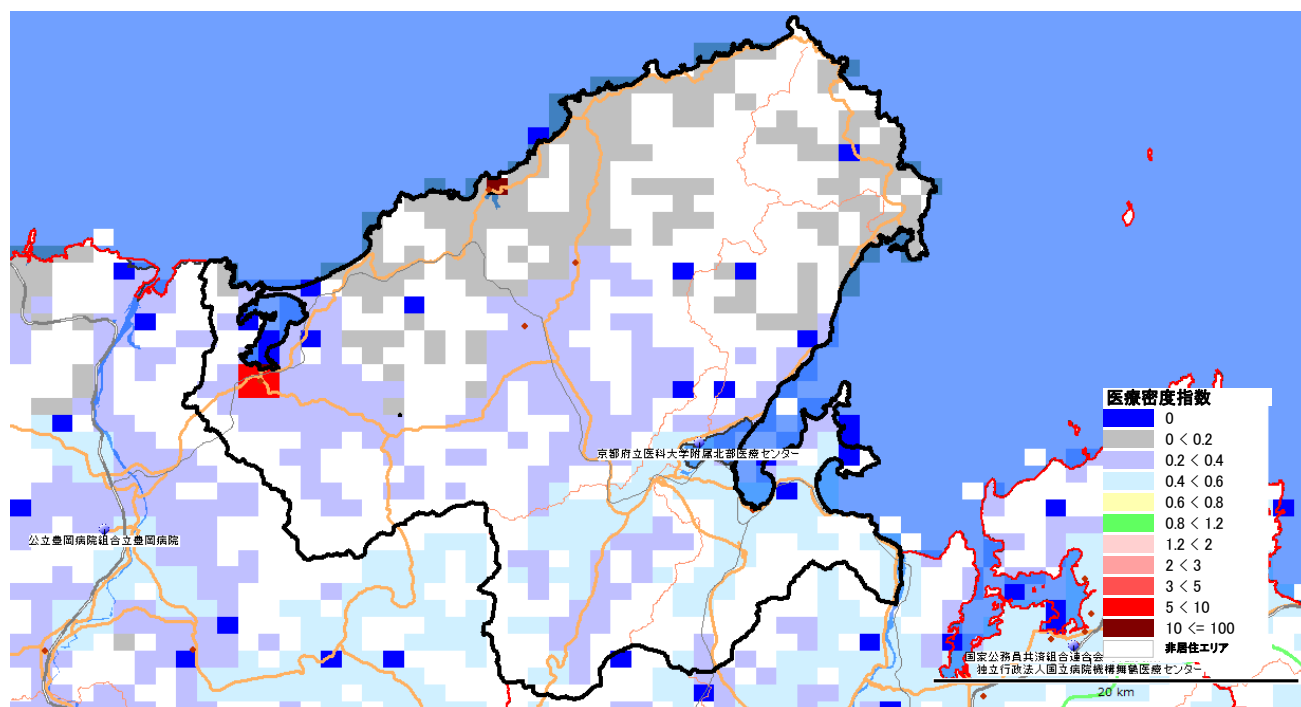
## 26. 京都府

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 26-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 26-1-2 慢性期医療密度指数マップ

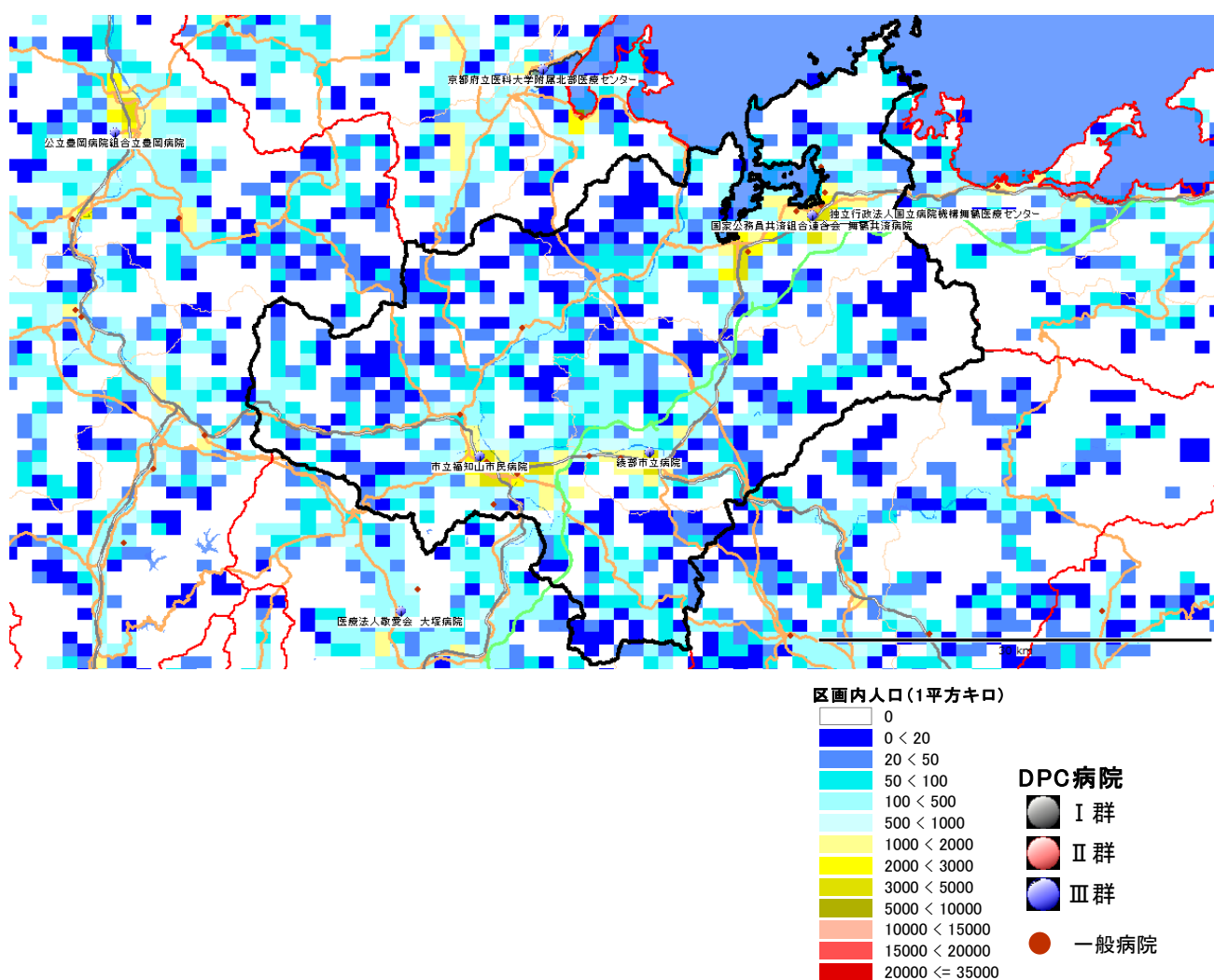


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## 26-2. ちゅうたん 中丹医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [福知山市](#), [舞鶴市](#), [綾部市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 中丹医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (中丹医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

**【地域の概要】**

**\*人口、面積など：** 中丹(福知山市)は、総人口約 196 千人(2015 年推計)、面積 1242 km<sup>2</sup>、人口密度は 158 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 中丹の総人口は 2025 年に 178 千人へと減少し(2015 年比-9%)、2040 年に 151 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 32 千人が、2025 年にかけて 36 千人へと増加し(2015 年比+13%)、2040 年には 32 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 中丹の一人当たり医療費(国保)は 317 千円(偏差値 52)、介護給付費は 277 千円(偏差値 57)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

**【医療の現状】**

**\*入院医療の充実度：** 中丹の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.33、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.52 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 50、診療所医師数 45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 57 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 63 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 56 と多い。中丹には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の舞鶴共済病院、市立福知山市民病院(救命)、綾部市立病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 47 と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 53 とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 55 で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 53 で診療所数はやや多い。

**【介護施設や在宅ケアの現状】**

**\*介護施設の現状：** 中丹の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2401 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2052 床(偏差値 55)、高齢者住宅等が 349 床(偏差値 32)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2558 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 46、特別養護老人ホーム 60、介護療養型医療施設 47、有料老人ホーム 40、軽費ホーム 52、グループホーム 42、サ高住 32 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 52 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 45 とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、384 人（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48）で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は－9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は－10%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

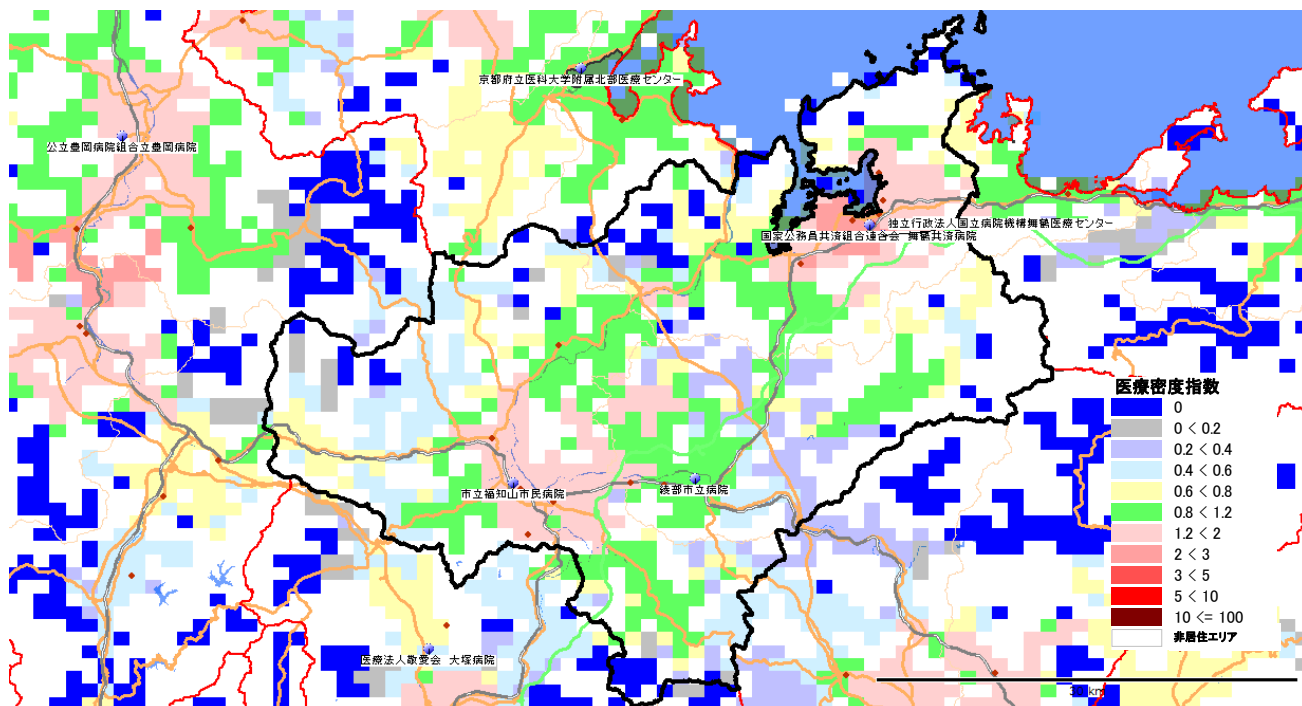
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均（95.5 床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

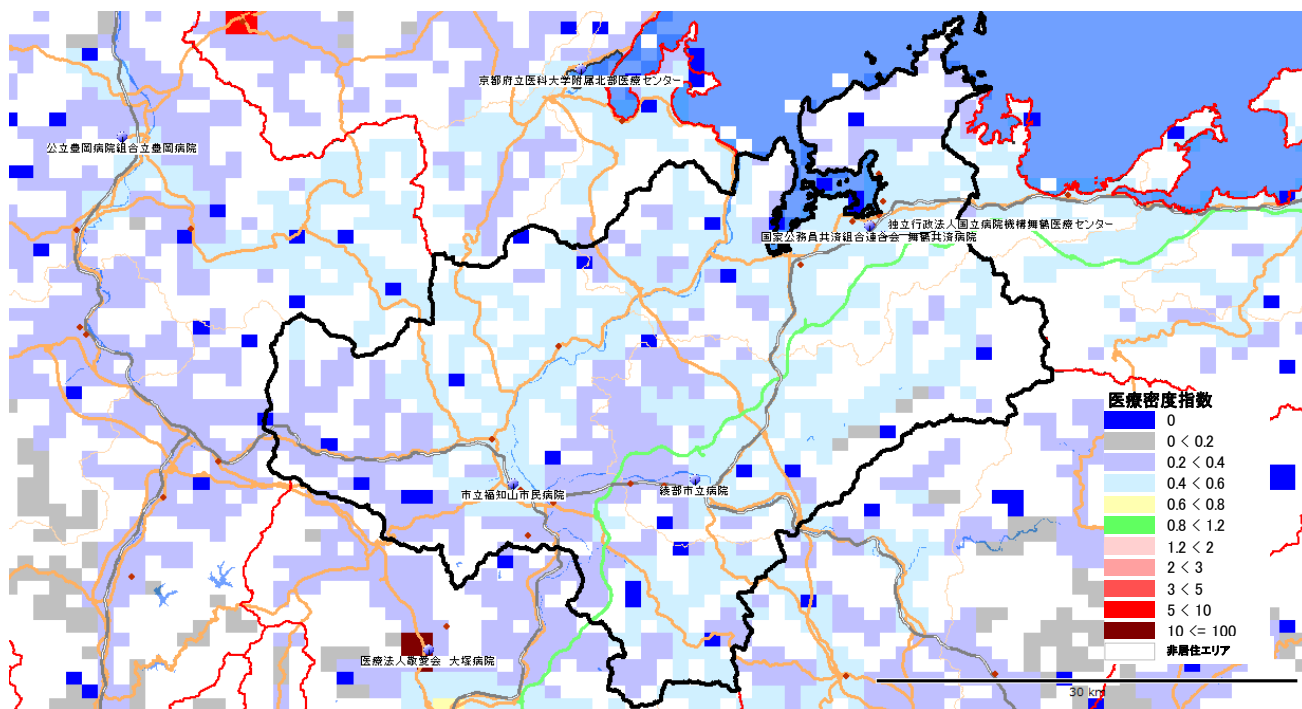
## 26. 京都府

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 26-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 26-2-2 慢性期医療密度指数マップ

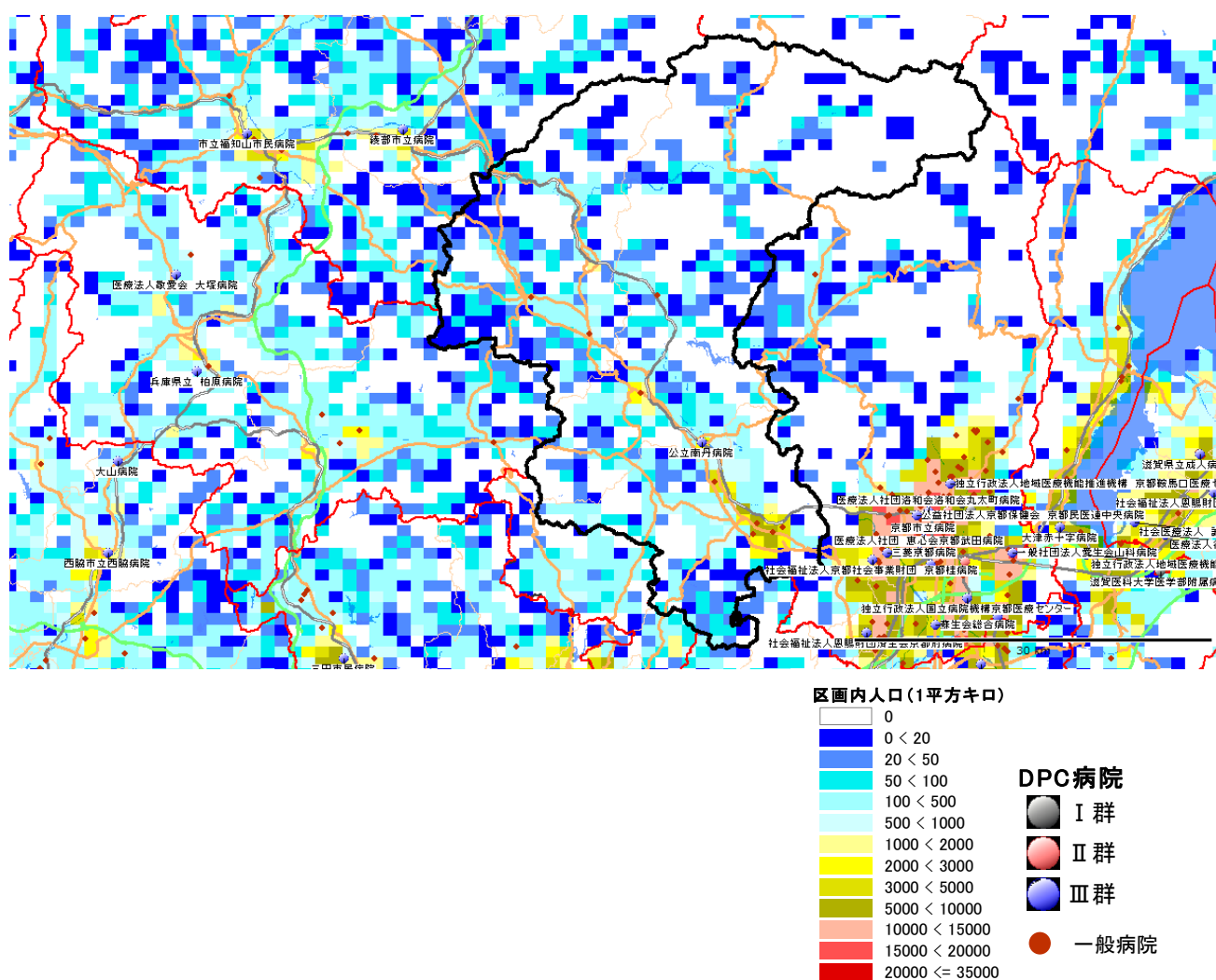


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## 26-3. なんたん 南丹医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 亀岡市,南丹市,京丹波町

人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 南丹医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (南丹医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 南丹(亀岡市)は、総人口約 138 千人(2015 年推計)、面積 1144 km<sup>2</sup>、人口密度は 121 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 南丹の総人口は 2025 年に 127 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 107 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 19 千人が、2025 年にかけて 25 千人へと増加し(2015 年比+32%)、2040 年には 25 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 南丹の一人当たり医療費(国保)は 309 千円(偏差値 50)、介護給付費は 254 千円(偏差値 51)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 南丹の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.05、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.08 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 44(病院医師数 45、診療所医師数 44)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 42 と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 53 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 39 と少ない。南丹には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の公立南丹病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 48 と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 44 と少なく、回復期病床数は存在しない。

**\*精神病床の現状：** 精神病床は存在しない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 49 で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 南丹の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1975 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1699 床(偏差値 73)、高齢者住宅等が 276 床(偏差値 34)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1921 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 67)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 64、特別養護老人ホーム 64、介護療養型医療施設 66、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 44、サ高住 42 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 38 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 57 と

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実



多い。介護職員（在宅）の合計は、198人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+12%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-14%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

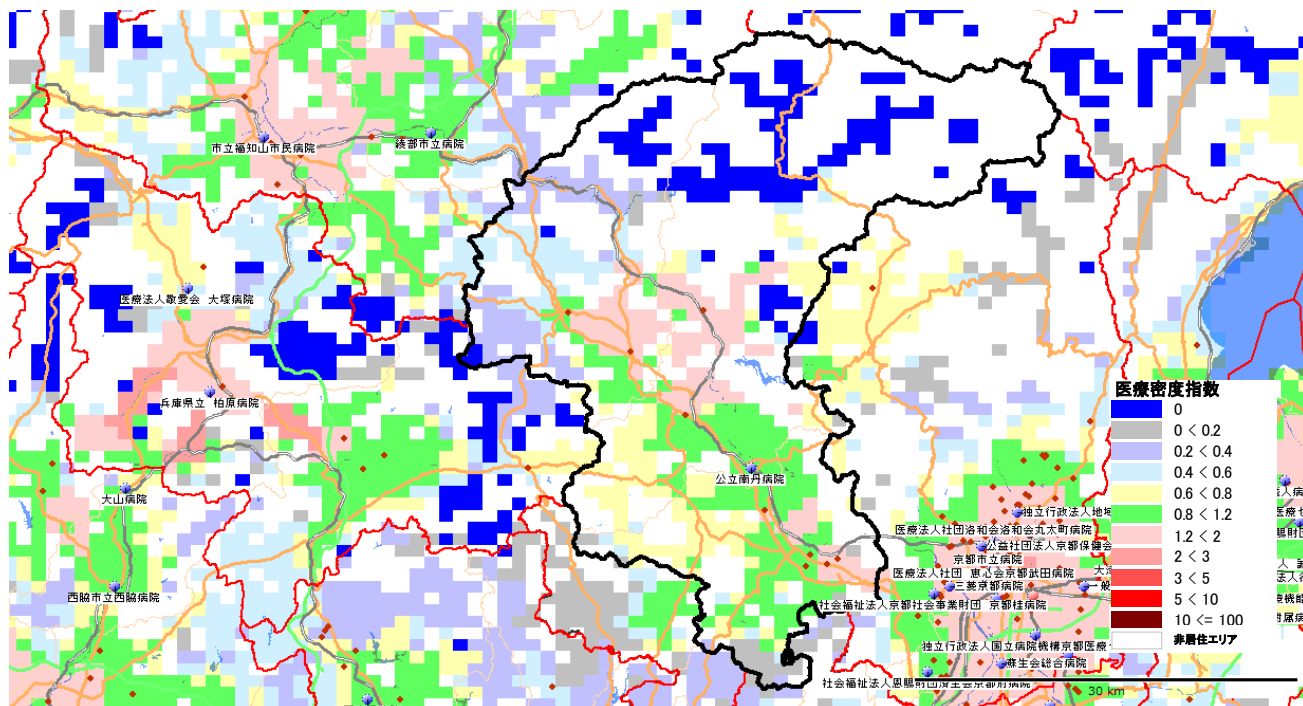
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

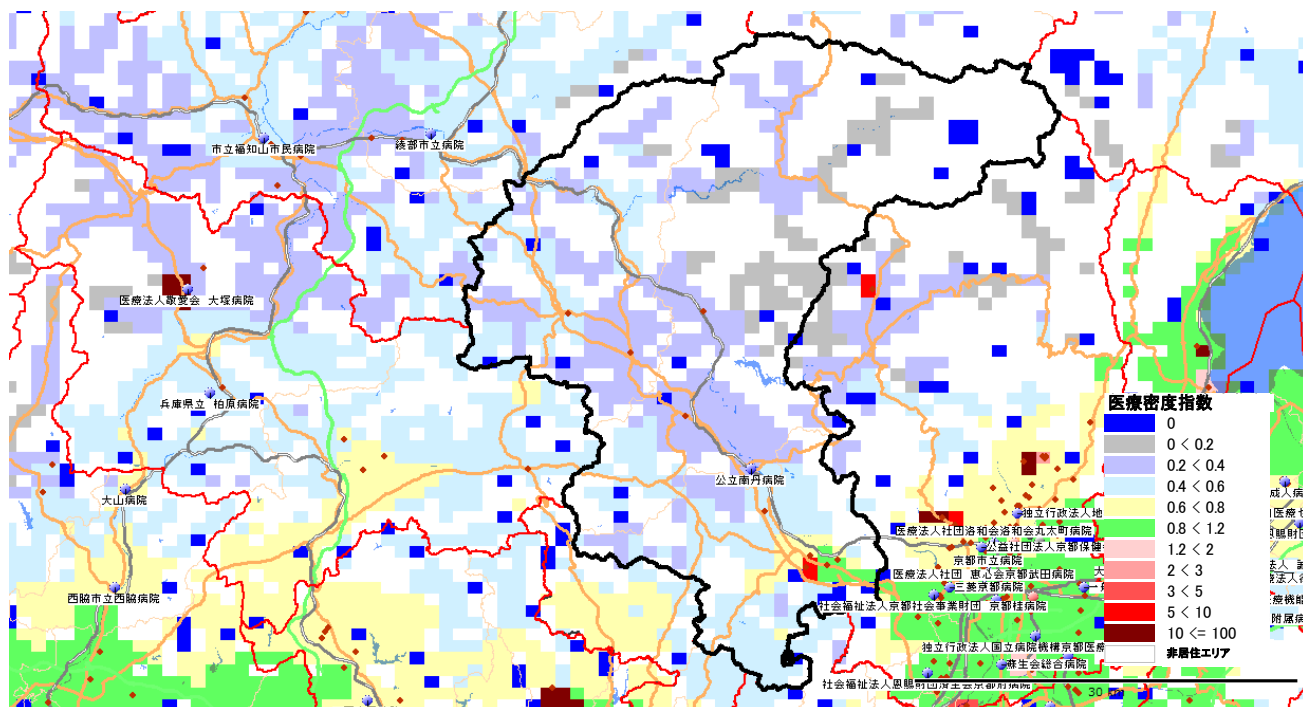
26. 京都府

2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 26-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 26-3-2 慢性期医療密度指数マップ

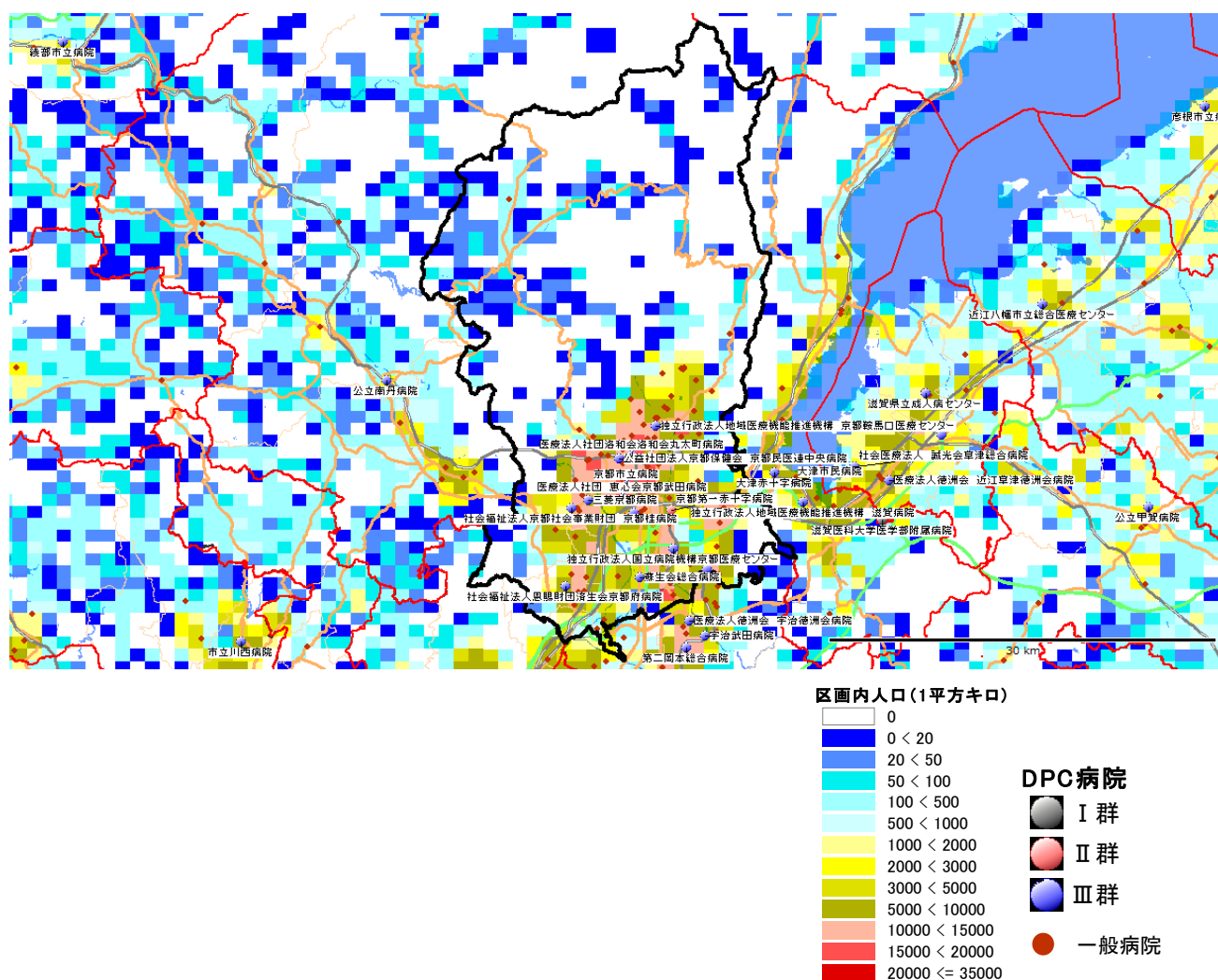


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## 26-4. 京都・乙訓医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 北区,上京区,左京区,中京区,東山区,下京区,南区,右京区,伏見区,山科区,西京区,  
向日市,長岡京市,大山崎町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 京都・乙訓医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (京都・乙訓医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 京都・乙訓(京都市)は、総人口約 1621 千人(2015 年推計)、面積 861 km<sup>2</sup>、人口密度は 1884 人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 京都・乙訓の総人口は 2025 年に 1565 千人へと減少し(2015 年比-3%)、2040 年に 1408 千人へと減少する(2025 年比-10%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 215 千人が、2025 年にかけて 301 千人へと増加し(2015 年比+40%)、2040 年には 297 千人へと減少する(2025 年比-1%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 京都・乙訓の一人当たり医療費(国保)は 336 千円(偏差値 56)、介護給付費は 267 千円(偏差値 55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 京都・乙訓の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.39、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.72 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 64(病院医師数 64、診療所医師数 62)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 53 とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 61 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 56 と多い。京都・乙訓には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の武田総合病院、京都大学医学部附属病院(I 群)、京都府立医科大学附属病院(I 群)、京都第二赤十字病院(II 群・救命)、京都医療センター(救命)、京都第一赤十字病院(II 群・救命)、1000 例以上の京都桂病院、音羽病院(救命)、京都市立病院、京都鞍馬口医療センター、丸太町病院、500 例以上の三菱京都病院、武田病院、京都市民医連中央病院、済生会京都府病院がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 51 と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 50 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 48 と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 51 で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 64 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 京都・乙訓の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19212 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 13210 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 6002 床(偏差値 44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、14359 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設73、有料老人ホーム44、軽費ホーム46、グループホーム43、サ高住54である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、3613人（75歳以上1000人当たりの偏差値56）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-12%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-54%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

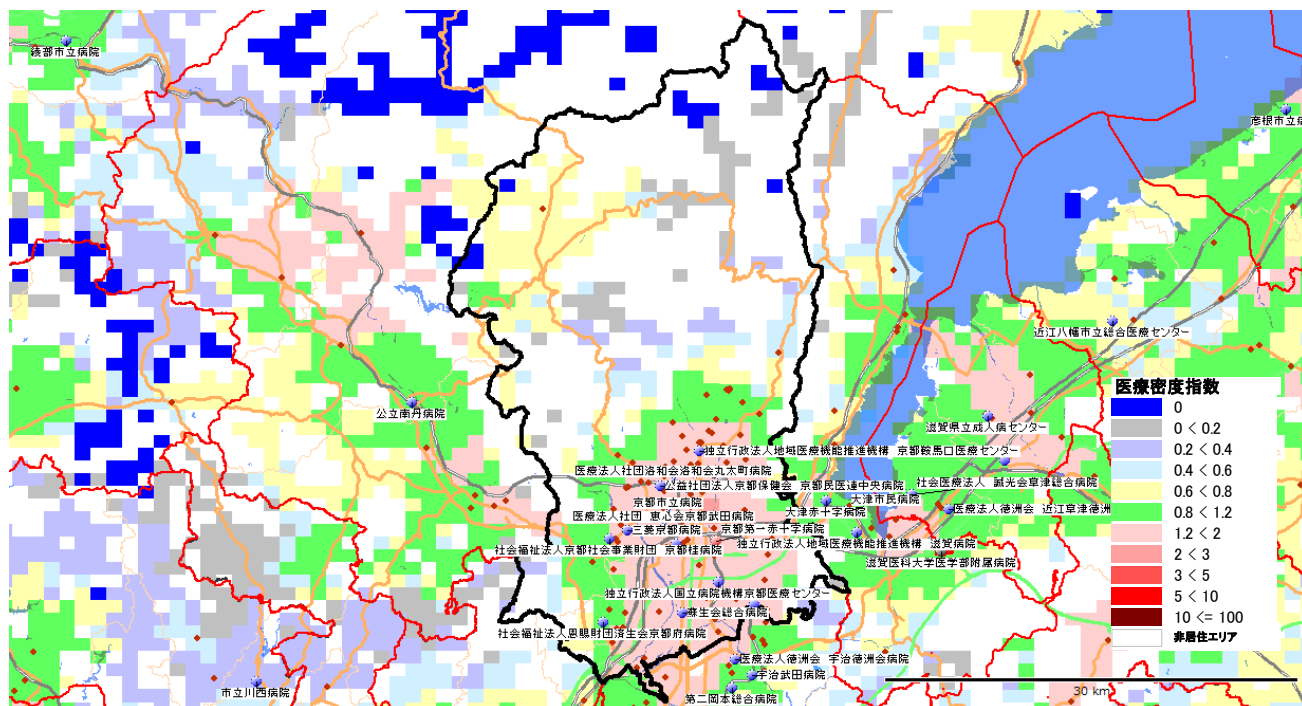
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

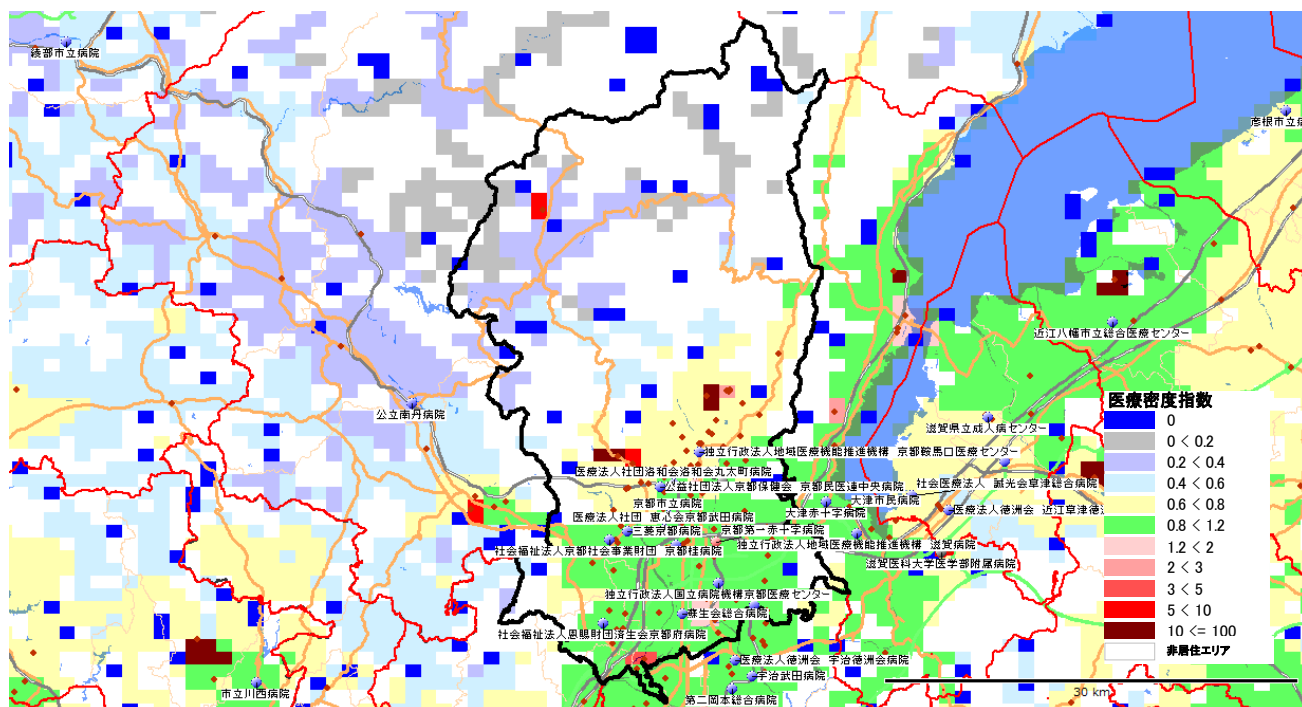
26. 京都府

2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 26-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 26-4-2 慢性期医療密度指数マップ

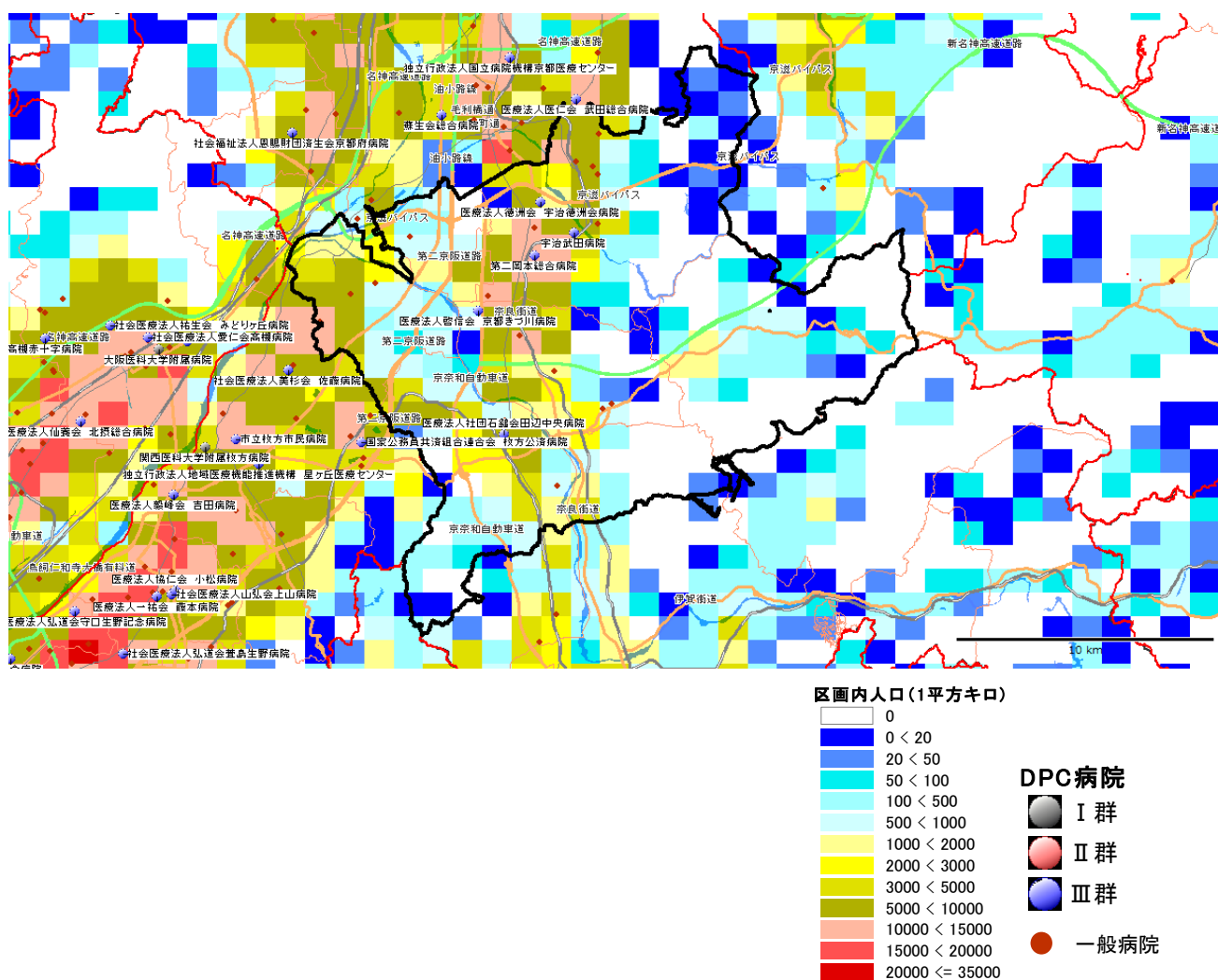


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 26-5. やましろきた 山城北医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 宇治市, 城陽市, 八幡市, 京田辺市, 久御山町, 井手町, 宇治田原町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 山城北医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (山城北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 山城北(宇治市)は、総人口約 442 千人(2015 年推計)、面積 258 km<sup>2</sup>、人口密度は 1716 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 山城北の総人口は 2025 年に 423 千人へと減少し(2015 年比-4%)、2040 年に 371 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 50 千人が、2025 年にかけて 80 千人へと増加し(2015 年比+60%)、2040 年には 73 千人へと減少する(2025 年比-9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 山城北の一人当たり医療費(国保)は 319 千円(偏差値 52)、介護給付費は 214 千円(偏差値 40)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 山城北の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.97、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.48 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 44(病院医師数 43、診療所医師数 47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 43 と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 48 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 44 と少ない。山城北には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の宇治徳洲会病院(救命)、500 例以上の宇治武田病院、第二岡本総合病院がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 47 と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 49 と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 49 で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 45 で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 山城北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4017 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2796 床(偏差値 48)、高齢者住宅等が 1221 床(偏差値 41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3062 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 46、特別養護老人ホーム 48、介護療養型医療施設 53、有料老人ホーム 48、軽費ホーム 47、グループホーム 44、サ高住 39 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 46 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 46

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実



とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、464人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-13%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-65%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

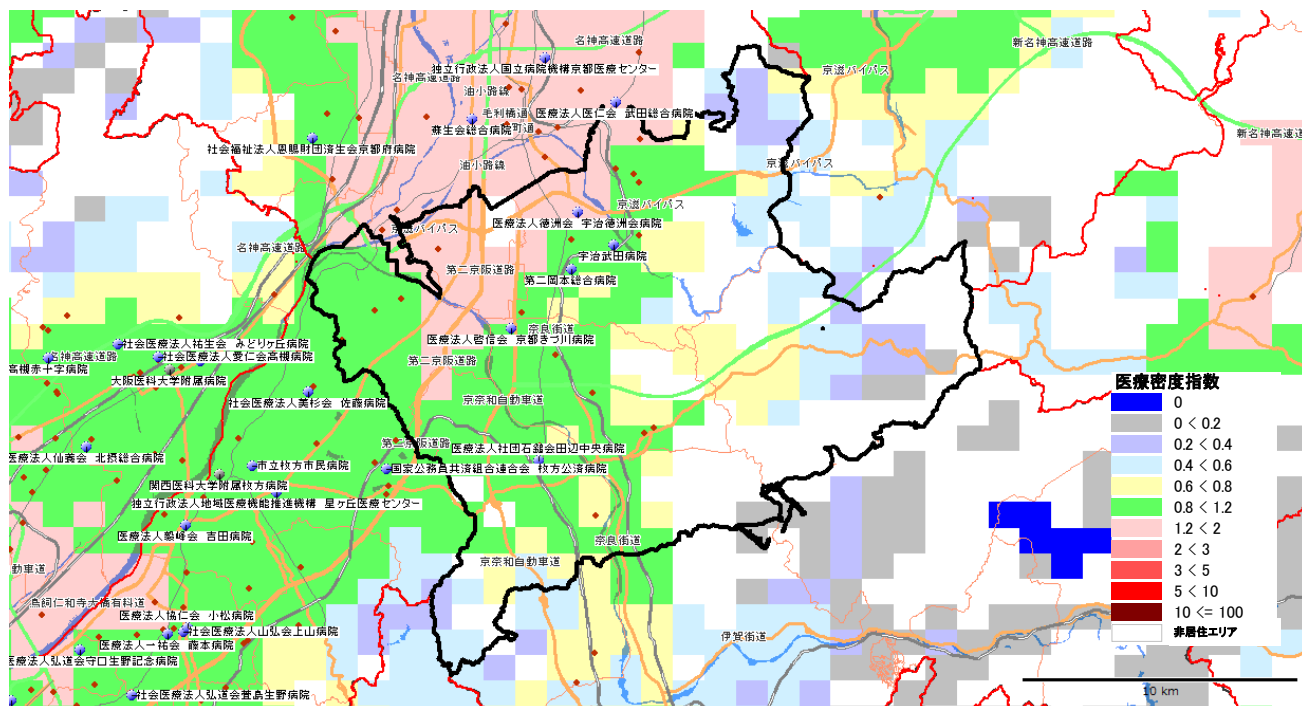
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

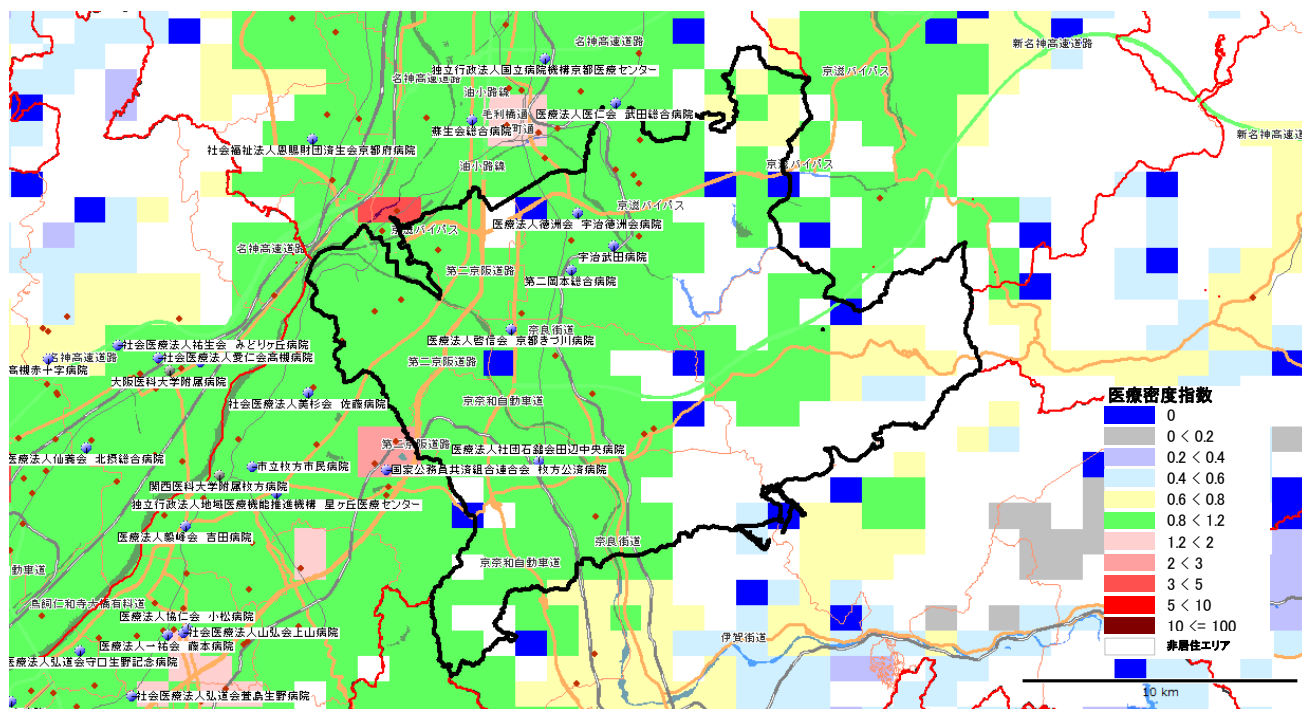
## 26. 京都府

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 26-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 26-5-2 慢性期医療密度指数マップ

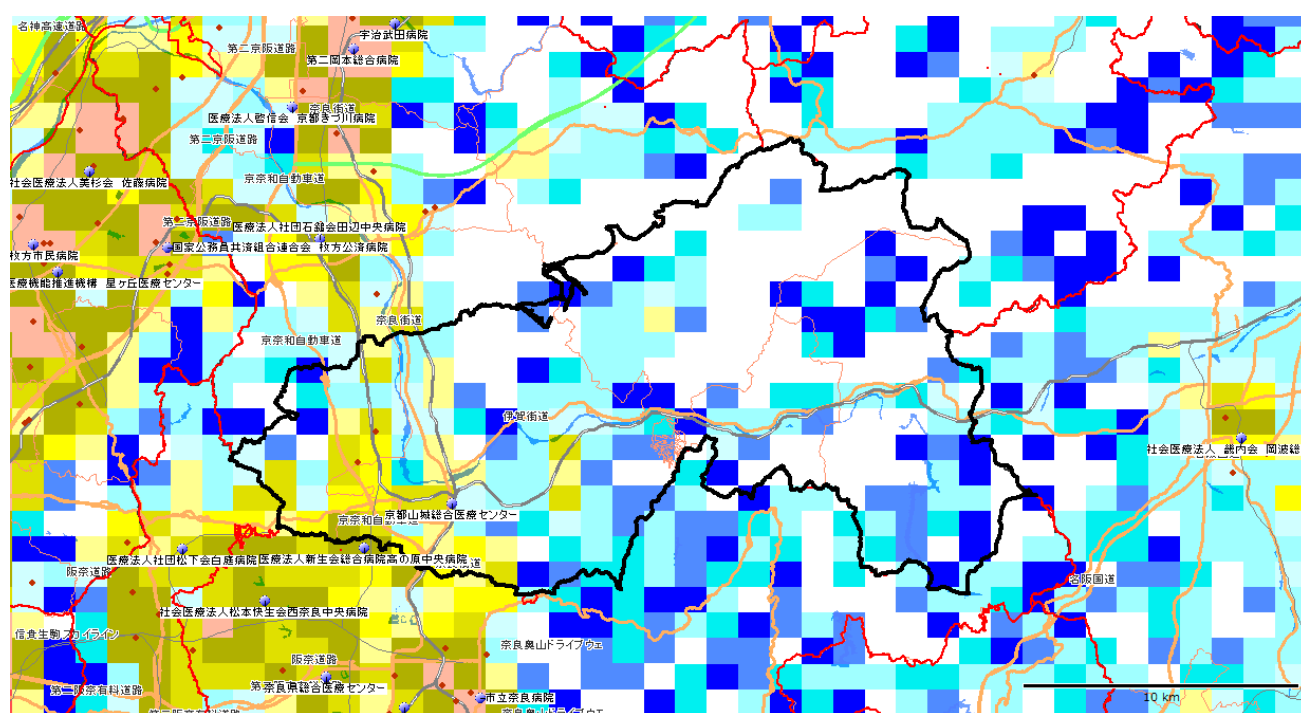


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## 26-6. やましろみなみ 山城南医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 木津川市,笠置町,和束町,精華町,南山城村

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 山城南医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (山城南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 山城南(木津川市)は、総人口約 119 千人(2015 年推計)、面積 263 km<sup>2</sup>、人口密度は 451 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 山城南の総人口は 2025 年に 122 千人へと増加し(2015 年比+3%)、2040 年に 121 千人へと減少する(2025 年比-1%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 12 千人が、2025 年にかけて 19 千人へと増加し(2015 年比+58%)、2040 年には 21 千人へと増加する(2025 年比+11%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 山城南の一人当たり医療費(国保)は 345 千円(偏差値 59)、介護給付費は 234 千円(偏差値 46)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 山城南の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.6、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.8 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 38(病院医師数 36、診療所医師数 45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 32 と非常に少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 38 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 40 と少ない。山城南には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の京都山城総合医療センターがある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 40 と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 40 と少なく、回復期病床数は存在しない。

\*精神病床の現状： 精神病床は存在しない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 49 で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 山城南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1124 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 590 床(偏差値 43)、高齢者住宅等が 534 床(偏差値 56)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、825 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 41、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホーム 74、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 45、サ高住なし(偏差値 31)である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 53 とやや多く、在宅療養支援病院は存在しない。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

介護職員（在宅）の合計は、68人（75歳以上1000人当たりの偏差値36）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+10%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-58%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

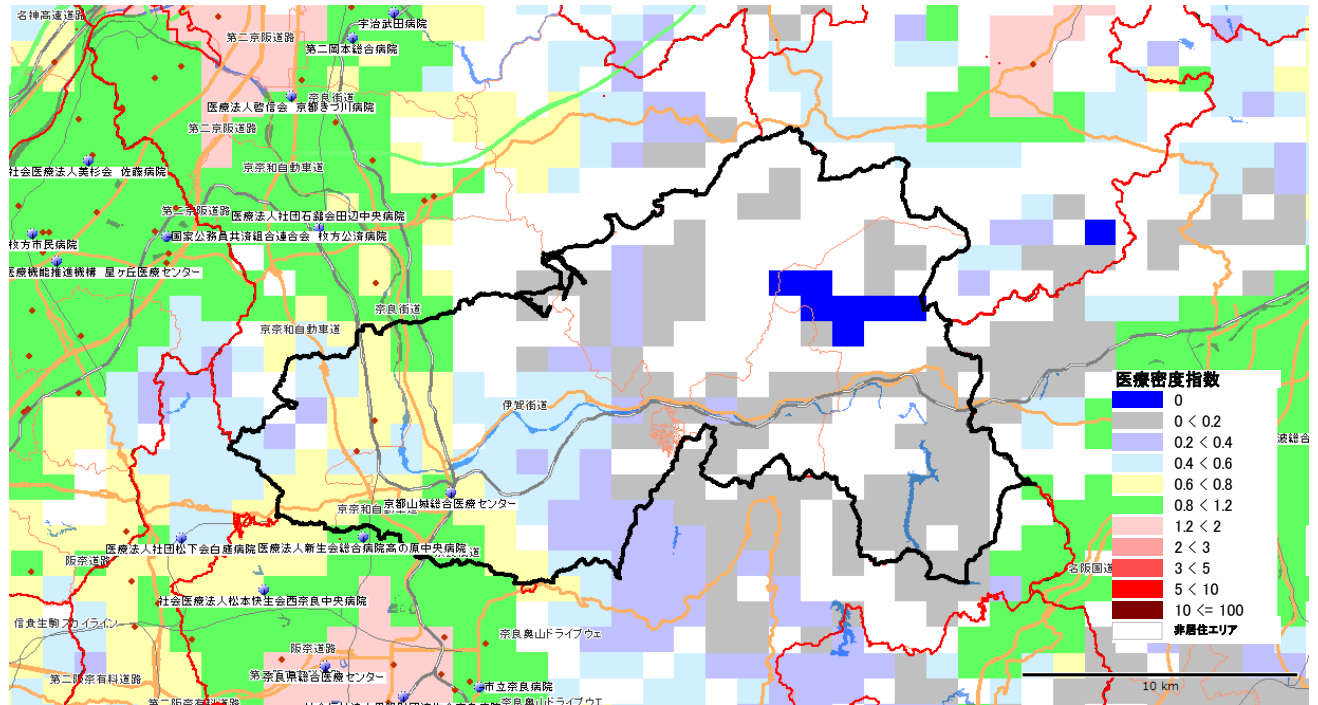
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

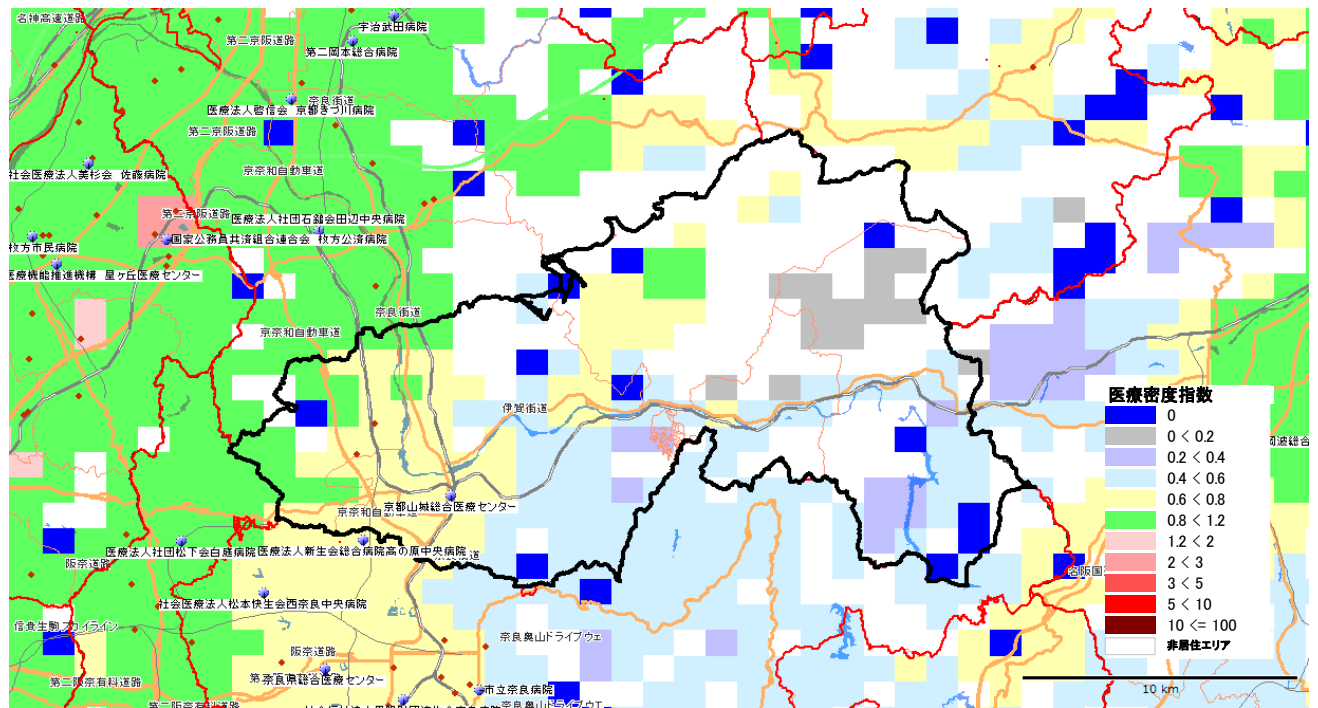
## 26. 京都府

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 26-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 26-6-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。